

茅材の地産地消へ地域の茅刈り技能者、支援者と供給地の拡大に取り組む (2年目)

1. 事業の目的、茅生産の実績と目標

日本の風土文化が育てた多様な建築物の一つである茅葺きを中心とした古民家住まいが見直されているが、茅葺き屋根材の茅は、阿蘇(熊本県)などから県外から購入している。産地の積雪などにより生産供給量・価格などが変動する。これらのリスクヘッジへ茅材の「地産地消」を目指しているが「茅刈り人材・供給地(茅場)」の不足により、「人材と供給地の拡大」へ取り組んでいる。茅束の生産実績と目標は表-1である。

2. 茅束生産増大への目標と取組み

2年目の計画は、既存茅場の生産数 200 束の生産水準にすることにしており、課題は、小野の茅場がクズ、ヤブカラシなどつる植物の繁茂により収穫が落ちていることである。つる植物退治などの施策(表-3)実施により目標達成(表-1)を目指すことにした。

3.活動内容

表-1 NPOの茅束生産数の実績と目標										
生産年 茅場名(住所)	令和8 (2026) 年 目標	令和7 (2025) 年 実績	令和6 (2024) 年	令和5 (2023) 年	令和4 (2022) 年	令和3 (2021) 年	令和2 (2020) 年	令和元 (2019) 年	平成30 (2018) 年	平成29 (2017) 年
谷家茅場(北区道場町)					195	142	169	69	38	0
岸家茅場(丹波市青垣町)	130	148	90	100	97	61	69			
百々家茅場(小野市大開町)	80	44	43	80	77	5	0			
新規茅場(丹波市市島町)	50	40								
茅束数 計	260	232	133	180	369	208	238	69	38	0
茅束数の増減(令和6年比)計	127	99								

表-3 2年目～3年目の目標と1年目実績の集計表										
	一年目(令和6(2024)年度)			2年目(令和7(2025)年度)			3年目(令和8(2026)年度)			備考
	目標	実績	差異	目標	実績	差異	目標	実績	差異	
1)茅刈り人の増加(人)	2	6	4	4	2月予定		6			
2)茅束生産量(束)	50	99	49	100	2月予定		200			
3)-1茅刈り場の調査数	2	2	0	2	2		4			
3)-2茅刈り場の増加数	0	0	0	2	2月予定		4			
研修会・講習会	4)草刈り作業を知る	2	1	-1	2	6	2			
	5)茅場を知る	2	4	2		1(東祖谷京柱峠茅場)				
	6)茅葺き技術を知る	2	1	-1	1		1			
	7)茅刈り技術を知る	2	2	0						
	8)茅束つくりを知る	2	2	0	1	2月予定	1			
	9)茅束貯蔵運搬を知る	1	3	2	1	2月予定	1			
	10)古民家維持を知る	1	2	1	1	1	1			



茅刈り火入れ(写真は昨年3月4日(小野)丹波24日(丹波))→今年は、2月8日(小野)15日(丹波)の予定



草刈り・つる退治(250619) 茅ノ輪づくり(250716)

東祖谷茅場研修(7月11月) ふるさと自慢(251108)

3. 成果・課題点

本年は、夏場の酷暑により学生一般車者参加が望めず NPO のメンバーに負荷のかかる作業となった。また、茅場のメインイベントの「茅刈り」は、2月予定であり、最終成果も2月の確認となる。

4. 今後の展望・成果の活用

最終成果を確認し、三年目の成果に向け計画を見直し計画達成に向け取り組む。

以上